

会期 : 2017年7月19日(水)～7月21日(金) 10:00～17:00  
会場 : 東京ビッグサイト 東5ホール(東京国際展示場)  
主催 : 一般社団法人日本能率協会  
後援 : 国土交通省、経済産業省、総務省、警察庁(順不同)

我が国の無電柱化事業は、阪神・淡路大震災、東日本大震災などの大災害を経験し、防災・安全の観点から必要性が高まっています。また2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、これまで通り景観性向上も重要な目的の一つと言えます。

取り巻く環境も、『無電柱化推進法案』が、昨年12月に成立。東京都殿においても都道府県初の無電柱化条例を制定する方針を明らかにしています。また『低コスト化に向けた取り組み』など、無電柱化を推進する動きがこれまで以上に活発になってきています。

土井製作所は、これまでの豊富な実績から、新たな商品や技術開発にも積極的に取り組んでいます。本展示会では、それらの一部をご紹介します。社員一同心よりご来場をお待ちしております。

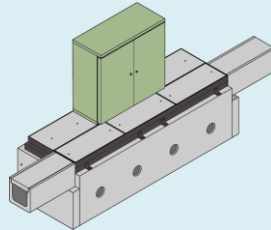


## 無電柱化による、防災・景観を考慮した高機能な都市環境づくりをサポート!!

### 低コスト化に向けたご提案

国土交通省 殿において、低コスト化に向けた取り組みとして「小型ボックス活用方式」や「管路の浅層埋設」等の検討が行われております。

本展示会では、弊社からのご提案として、小型ボックスと柵の接続や柵用特殊鉄蓋、専用開閉工具を展示いたします。



小型ボックス方式のご提案



引込用管路  
【ステンレス可とう管(EP)】  
【継手付防砂管】



繊維状  
インナーダクト  
【ソフトダクOptiCell™】

### 電線共同溝 橋梁添架システム

電線共同溝において、河川の横断等がある場合、橋梁部への添架や歩道マウントアップへの埋設、橋梁端部と地中埋設部の接続などの必要性が生じてきます。

本展示会では、それらに対応する、「可とう管」や「伸縮管」などを展示いたします。



ステンレス可とう管(EP)



伸縮管



片スネークSPスライダー

### 電線共同溝メンテナンス技術

無電柱化事業における、これまでの豊富な実績と経験を活かし、「電線共同溝 既存設備のメンテナンス」にも積極的に取り組んでいます。

本展示会では、既設管路(活線状態)での耐震補強、既設特殊部本体の嵩上げメンテ商品をご紹介します。



既設管路耐震補強メンテ



既設特殊部本体嵩上メンテ

### 樹脂製品による軽量化・省力化のご提案

これまで、インフラ基盤整備におけるハンドホール等設置の際、道路幅が狭いなどの理由で重機が入れない…限られた工期で施工を終えたい…といった要望にお応えして、3,300基の樹脂製ハンドホールを納入してきました。

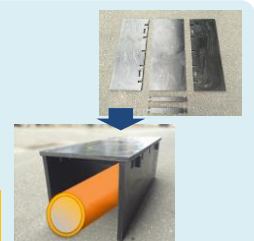
これまでの実績から無電柱化事業においても、軽量化・省力化のニーズに対しご提案をいたします。 DD-LKスマート



監理技術者講習  
テキスト掲載



NETIS登録商品  
登録No. KT-150069-A  
マルチダクト



埋設物防護材